評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.53	3.88	「たくましい子」「かんがえる子」「すなおな子」の設定は、知・徳・体を総合的に伸ばす目標として適切であり、教職員一丸となって取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.32		大きな行事については昨年度の反省を生かし改善して計画を立てることができている。各学年・学級、部会が全ての教育活動についても、計画に基づいて実行・評価までは実施できている。実効性がある改善策を即時対応してることが課題である。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.26		「豊かな心を育み、地域とともに歩む学校づくり」の実現に向け、豊かな心を「4つの心(やりぬく心・感謝の心・思いやる心・奉仕の心)」として取り組んでいる。各教育活動において、より一層具現化を図ることが課題である。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.21	3.63	三郷市の推進する「チャレンジプラス」に陸上大会、郷土を描く美術展を入れ、重点化して取り組んだ。特に陸上では優秀な成果を残した。「夢を育む教育」に教職員の共通理解のもと取り組むことが課題である。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.58		不祥事防止研修プログラムを活用し、倫理確立委員会を計画的に毎月実施している。職員打ち合わせ等においても不祥事根絶に向けた啓発を適宜実施している。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.47		教職員のキャリア段階に応じた研修、及び本校の課題解決にむけた研修を計画・立案し、着実に研修を進めている。特に若手教職員の指導力向上が見られ、日々の授業にも反映されている。
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.32		教職員は、授業研究会や研修等を通じ、教材研究を深め授業改善に積極的に取り組むことができている。児童の実態に応じた一人一人・各端末の活用が今後の課題である。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.37		県学力学習状況調査等の結果から、本校児童の実態を分析し、方策を立てて授業を進めている。個人差もあるため加配教職員を活用し算数科で少人数指導を取り入れ個に応じた指導を継続している。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.32		三郷市「授業の心得」を各教室に掲示したほか、本校の重点課題を明確にして取り組んできた。児童の自己評価は概ね90%を超えている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.32	3.50	学級差はあるが、概ね落ち着いた学習ができている。今後も授業規律について低学年から丁寧に指導していく。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.32	3.25	学校図書館司書がレファレンスを行い、図書を国語や社会科、総合の学習に結び付けている。また図書館掲示も充実させ、居心地よく知的好奇心がわく環境となっている。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.16	3.00	学校図書主任を中心に、様々なイベントを設け、児童の興味を高めている。ボランティアの方の力を借り読み聞かせも充実している。読書賞や家談の教育長賞等も意欲の喚起となっている。休み時間外遊びをする児童が多く、授業以外にも自由に来館できる時間を確保することが課題である。
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.21		学校栄養教諭と連携し、食に関する指導を行っている。栄養面の知識だけではなく生産者や食べ物に感謝する心を育てている。「カルピスナックススクール」等、企業と連携した出前教室を活用し食への意識を高める学習も実施している。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.42	3.75	外遊びを好む児童が多く、「陸上記録会」や「水泳大会」の行事に向けて熱心に取り組むことができる。新体力テストではどの項目も優れた数値を示している。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.11		「議論あう道徳」へ授業改善を進めている。各教室の道徳コーナーの設置等、道徳部を中心に改善が進んでいる。学校公開や授業参観において道徳の授業公開を増やすことが課題である。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.16		行事等において努力や感謝などの道徳性を育てるために、各行事においてどんな心情を養うのか計画的に取り組むことが課題である。
生徒指導	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.26		子どもにとって最大の教育環境は教師である。特に「挨拶」「言葉遣い」は教師自らも意識することを課題として、今後も指導を積み重ねていく。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。★	3.53	3.63	来校される方から「気持ちよくあいさつする子が多い」と評価を頂いている。子供自身も自信を持っておりそれを褒め伸ばすことができている。校外でも地域の方にあいさつすることができるよう指導を続けていく。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.26		授業中の言葉遣いの指導は進んでいる。相手や時と場に応じた言葉や敬語が使えない子がいるので課題である。継続して指導を続ける。
	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.58		毎月の生徒指導・教育相談委員会において不登校や問題行動のある児童について情報を共有し、全職員で見守る体制ができている。不登校児童に対しては、家庭と連絡を密にとり安心して登校できるよう配慮している。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.47		子供のために家庭・地域・学校の教育力を結集していくことが本校の基本姿勢である。電話連絡や連絡帳、学級通信等で児童の姿を伝え、よりよく成長させる道と一緒に考えるよう連携している。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.47	3.75	児童が互いに認め合い、学級内で自己肯定感を持てるよう学級経営を進めている。「いじめ撲滅宣言」で、各自の決意を表明することで意識を高めている。今年度から、早期発見早期解決のためにアンケート内容の改善を行った。
安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.26		事故発生・大地震発生・不審者侵入等の緊急対応マニュアルを常時職員室内に掲示している。大地震発生時の緊急参集職員も確認し、緊急連絡網での連絡システムも整備できている。より実効性あるマニュアルの見直しも課題である。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.47	4.00	毎月の安全点検を徹底し、修繕・交換等の即時対応を心掛けている。交通安全指導については、朝会・一斉下校の機会に繰り返し指導している。
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.37	3.50	無言清掃の指導を継続している。歴史ある校舎であり、老朽化による破損が多い。しかし、清掃と掲示に力を入れることで、明るくきれいな環境を保っている。地域の方の力を借り、樹木薬剤散布を行っている。
	26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.47		市内一斉の取り組み(登校時刻や朝の活動の見直し)に加え、本校独自の取組(カエルボード設置等)を推進している。業務改善は進んでいるがまだ十分ではないので業務の優先順位をつけながら推進する。
家庭地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.26	3.50	学校だより、学級だよりを充実させ本校教育活動の様子や成果・課題などを発信している。ホームページの更新に課題があるので今後改善していく。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.21	3.25	運動会、学校公開等、保護者に公開できる機会には積極的に公開している。学校応援団として学習支援、環境整備、登下校の安全確保など、熱心に支援して下さる方々に感謝している。「ありがとうの会」はコロナ感染防止のため実施できないが日頃の労に感謝する気持ちを手紙に書く取組をしていく予定である。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.26	3.75	「地域とともに歩む学校」が本校の特色である。連絡アプリを活用したPTA広報活動、リサイクル活動、地域パトロール等、コロナ禍においてもできる取組を共に考えながら高州小の子供たちのために協力している。